

講演番号	発表申込番号	名前_姓	名前_名	申込者所属	発表題目(日本語)
10-01	FH68	土屋	直輝	山口大学大学院創成科学研究科	ホウ素ルイス酸性を制御した環状ホウ素化合物の反復型カップリングへの応用
10-02	FH63	倉林	一樹	慶應義塾大学	ホウ素化グリコンドを用いたアリーールC-グリコシドの合成法の開発
10-03	FH16	Lee	Donghyeon	大阪大学	分子内樹山カップリングによる4-シラ-4H-ベンゾ[d][1,3]オキサジンの合成
10-04	FH179	保坂	正樹	東北大学	C-H官能基化によるキュバン縮環型複素環化合物の合成研究
10-05	FH92	藤岡	広広	神戸薬科大学	ヒドラゾンを配向基に用いたC(sp ³)-H活性化を駆動力とする新規ピラゾール合成法の開発
10-06	FH25	Tang	Xinxin	Institute of Microbial of Chemistry	Stereoselective Synthesis of Remotely Functionalized Pyrrolidines by Rh-catalyzed C-H Insertion
10-07	FH7	西井	祐二	大阪大学	触媒的ビニレントランスファー反応によるC4置換ベンゾフランの選択的合成
10-08	FH80	秋山	拓弥	大阪大学	タングステン錯体を触媒とするベンタアリーール化ピロールの短段階合成
10-09	FH67	高岸	和輝	北海道大学大学院薬学研究院	ロジウム(I)触媒によるアルキンの分子内不斉ヒドロアシル化反応を利用した環状ケトンの合成
10-10	FH69	松林	祐希	兵庫県立大学大学院	新規キラルジカルボキシレート触媒を用いたフェノール類の脱芳香族的不斉フッ素化反応
10-11	FH130	三輪	翔太	芝浦工業大学工学部	オルト-CH ₃ /CD ₃ 識別に基づく炭素-窒素軸不斉型同位体アトロプ異性分子の創製
10-12	FH149	Kumar	Ankit	大阪大学産業科学研究科	窒素・酸素・硫黄原子を含むヘテロ[9]ヘリセンのエンアンチオ選択的合成
10-13	FH141	飯塚	夕夏	名古屋工業大学	ビスイミダゾリン-リン酸触媒を用いた直截的キラルチアゾリジン合成の開発
10-14	FH42	山田	昂輝	九州大学	窒素上無保護ケチミンに対する触媒的不斉ヒドロホスホニル化反応の開発
10-15	FH153	山田	健一	徳島大学大学院医歯薬学研究部(薬学域)	遠隔位電子効果を利用する不斉分子内Stetter反応の反応機構研究
10-16	FH90	中西	大志	東北大学大学院理学研究科	ビニルキノリン類をジェノフィルとする不斉Diels-Alder反応の開発とEndo/Exo選択性を制御する新知見
10-17	FH13	中島	長安	名古屋大学大学院創薬科学研究科	エクテナサイジン743の合成研究
10-18	FH50	小森	優真	東京大学大学院	高酸化度プレミルナン類の合成研究
10-19	FH184	佐藤	康太	愛知教育大学	日本脳炎ウイルスの阻害活性を有する硫酸化グルクロン酸あるいは硫酸化トレハロース誘導体の合成
10-20	FH34	眞木	準平	京都大学	アロタケタル単純化アナログの設計・合成およびPKC結合活性
20-01	FH96	韓	暁雷	東北大学	有機触媒を用いた多置換キノリン誘導体の新規合成法の開発
20-02	FH106	橋本	大輝	大阪大学	有機ホウ素触媒を利用した含窒素環式化合物の水素化/脱水素化を鍵とする水素精製
20-03	FH169	遠藤	功基	岐阜大学	イミダゾ[1,5-a]ピリジンカルベンのアルデヒドの酸化的エステル化への応用
20-04	FH125	Perry	Gregory	京都大学	二酸化炭素源と強塩基の二つの役割を果たすカルボン酸によるC-Hカルボキシル化
20-05	FH48	末永	大貴	信州大学工学部	インシオウレア-ハロゲン化物イオン複合型触媒による二酸化炭素固定化反応
20-06	FH101	加藤	雅之	総合研究大学院大学	ハロゲン結合供与性ピリジル配位子から成るヨードニウム錯体触媒の開発
20-07	FH94	山本	耕介	長崎大学	芳香族ヨウ化物をヨウ素化剤とするヨード環化反応の開発
20-08	FH70	橋本	直季	京都大学大学院薬学研究院	アクアミリアルカロイドの多様性指向型合成に向けた金触媒環化反応の開発と合成展開
20-09	FH99	吉村	惇	中央大学	タンデム反応を基盤とするピロリジン合成と海洋三環性アルカロイド全合成への応用
20-10	FH37	川久保	暢人	愛知学院大学	新規二置換ピリドイミダゾイソキノリニウムの合成と細胞内蛍光プローブとしての性質
20-11	FH168	古屋	翔平	中央大学大学院理工学研究科	不斉1,3-双極子環化付加反応を用いるスピロピロリジンの2,5- <i>trans</i> 選択的合成
20-12	FH40	山本	彩可	昭和薬科大学	インシアナートによるオキシムのN-選択的なアシル化を用いるニトロ形成とその1,3-双極子付加環化反応
20-13	FH38	小林	瑛宏	東京理科大学	アルキニルホキシドの求電子的活性化を経たベンゾフラン合成法の開発
20-14	FH173	谷島	寛人	神戸学院大学薬学部	カチオン過剰型カウンターイオンを有する銅錯体の合成とそれを用いたケテンシリルアセタールとケトンとの向山アルドール反応
20-15	FH22	内田	知希	慶應義塾大学	オレフィンの異性を鍵としたインドール合成法の開発
20-16	FH82	林	昌彦	神戸大学	Pd/C-エチレン系を用いた置換インドールの新規合成法
20-17	FH98	藤井	明子	岐阜薬科大学	ルイス酸触媒によるフェナントレン環形成法の開発と反応機構の解明研究
20-18	FH55	平尾	まりな	早稲田大学	ルイス酸/可視光レドックス触媒系を利用したN-ベンゾイルピロリジンの開環反応
20-19	FH30	前田	文平	関西学院大学	可視光照射によるC-H結合チオシアネート化反応とワンポットインシオシアネート化反応の開発
20-20	FH35	佐藤	由季也	京都大学	N-ヘテロ環カルベン/光酸化還元協働触媒によるアルケンのアミドアシル化反応
20-21	FH121	湯村	太一	京都大学 大学院薬学研究院	ポロン酸・光触媒によるカルボン酸の一電子還元型反応の開発
30-01	FH142	高尾	希美	大阪大学	二酸化塩素を用いた可視光下クロロホルム酸化によるアミンのホスゲン化
30-02	FH161	川端	崇裕	山口大学大学院	ビニル環状ペルフルオロアルカンシルホニルアミドを用いた開環ラジカル付加重合
30-03	FH143	室岡	美里	関西学院大学	スルホニルアレーンを用いるアルキルアミンの電気化学的 α -アリーール化反応
30-04	FH18	佐藤	英祐	岡山大学	陽極酸化を用いたインドール化合物の骨格変換
30-05	FH152	熊	浩然	東北大学大学院薬学研究院	Chartelline Cの合成研究
30-06	FH109	1島田	莉子	京都大学	Tagetitoxinの全合成研究
30-07	FH59	細見	紘幸	京都薬科大学	15-16位を <i>threo</i> 配置に固定したアセトゲニンチオフェン誘導体の合成とがん細胞増殖抑制活性
30-08	FH154	阪	一穂	大阪大学	ビス(インドリル)メタン骨格を有するPdイオン選択的発色剤の開発
30-09	FH43	中野	健央	九州大学	チアゾール環構造を有する新規ゴルフリン類縁体の合成と、その光化学特性
30-10	FH183	有澤	光弘	大阪大学	閉環メタセシス・1,3-双極性付加環化反応 ワンポット反応による5-フェニル-13-アリーールインドロ[2,1-a]キノリン類の合成とそれらの光学特性
30-11	FH64	田口	純平	東京医科歯科大学	3-アジドアラインおよび3-トリアゼニルアライン種を経る多置換芳香族の合成
30-12	FH32	伊藤	元気	明治薬科大学	シリカゲルまたは酸によるo-トリアゼニルアリーールボロン酸からのアライン発生法の開発
30-13	FH136	荒江	祥永	熊本大学	o-アルキルニルナフトール誘導体のヒドロメタル化による空気中で安定なo-ヘテロアリーール錯体の合成と反応性
30-14	FH19	西脇	永敏	高知工科大学 環境理工学群	疑似分子内反応を利用したアルキンの <i>syn</i> -選択的ハロゲン化水素化とジベンゾアゼビンの合成

第51回複素環化学討論会 講演番号一覧

講演番号	発表申込番号	名前_姓	名前_名	申込者所属	発表題目 (日本語)
1P-01	FH6	岩本	青空	慶應義塾大学	カリシフィリンBの合成研究
1P-02	FH2	田端	慎也	東京理科大学	アラインのチオアミノ化を経たフェノチアジン合成法の開発
1P-03	FH14	十倉	由宇	大阪大学大学院工学研究科	パラジウム触媒を用いたベンゾホスホールの炭素-水素結合直接アルケニル化
1P-04	FH23	田澤	翔生	日本大学大学院生産工学研究科	キラルなベンゾセノテトラミソールの新規合成と塩基・遷移金属フリーでの不斉マイケル付加反応
1P-05	FH39	相馬	志直	信州大学	ヒドロキシチレン類を用いる逆電子要請型不斉1,3-双極性付加環化反応
1P-06	FH78	濱田	拓実	高知工科大学	擬似分子内反応を利用した中員環構築
1P-07	FH79	川元	仁歩	武庫川女子大学	金触媒によるヘテロ環化反応を活用したベンゾオキサジノン骨格の効率的合成法の開発
1P-08	FH29	日比野	峻也	関西大学 化学生命工学部	エチニル基が置換したピベンゾフランおよびベンゾジフラン誘導体の合成と光学特性
1P-09	FH85	杉山	雅弘	京都大学	コバルトフタロシアニン・ニッケル触媒を用いたカルボニル化合物とアルケニルハライドの還元クロスカップリング
1P-10	FH84	増田	大慶	三重大学大学院工学研究科分子素材工学専攻	パラジウム触媒を用いた3-アミノ-4-(2-プロモフェニル)-2-ピリドンの分子内アミノ化を鍵反応とする2,3-二置換β-カルボリン-1-オンの合成
1P-11	FH45	水野	翔太	福山大学	Rosettacinを標的とした新規indolizine-5-one骨格構築法の開発研究
1P-12	FH87	小山田	悠介	名古屋工業大学 大学院工学研究科	イサチン由来のイミン類への不斉無置換アレニル化反応の開発
1P-13	FH88	千秋	妃美	昭和薬科大学	水溶性金触媒を利用した環境調和型2,3-ジヒドロベンゾフラン類の合成
1P-14	FH97	大石	峻也	総合研究大学院大学	ピリジルハロゲン錯体触媒によるアニオン結合性触媒反応の適用調査と定量分析
1P-15	FH102	久田	悠靖	大阪大学	環状エーテルとトリアリールホウ素から発生するFLPおよびH ₂ を活用したアミノ酸の還元的アルキル化
1P-16	FH52	宮本	稜也	関西大学 化学生命工学部	ベンゾフラン環が縮環したアセナフチレン誘導体の合成
1P-17	FH105	外川	蒼野	大阪大学	縫合重合を用いたポリ(アリーレンピレン)の合成
1P-18	FH113	江	逸源	京都大学大学院理学研究科	フローマイクロリアクターを用いたスチレンの還元的二量化による1,4-ジリチウム種の生成と複素環合成への利用
1P-19	FH131	松井	綾佑	芝浦工業大学工学部	炭素-窒素軸不斉キナゾリンチオンで観察されたキラリティー依存型ハロゲン結合
1P-20	FH137	古家	康明	日本大学大学院生産工学研究科	7-アリールジヒドロピラノ[3,2,c]ピラゾール誘導体の合成
1P-21	FH146	関西	光太郎	関西学院大学	アミンとアルデヒドを用いるスルホニルアレーンの電気化学的α-アミノアルキル化反応
1P-22	FH162	関口	健昌	大阪大学大学院薬学研究科	固相中での二酸化塩素を用いた電子豊富芳香環の官能基化
1P-23	FH53	筏	裕明	関西大学 化学生命工学部	ジプロモジベンゾナフトオキセピン誘導体の合成
1P-24	FH112	本廣	真穂	近畿大学	安息香酸型深共晶溶媒を反応溶媒としたテトラフェニルボルフィリン合成
1P-25	FH47	岩田	拓実	九州工業大学大学院	コシノスタチンアグリコンCDEFG環の合成と異性化についての研究
1P-26	FH41	牧原	勇太	関西学院大学	光触媒を用いる環状ポリアミンのアルキル化
1P-27	FH93	中森	優斗	近畿大学	STAT3阻害活性を有するフラノナフトキノンの合成と構造活性相関研究
1P-28	FH66	王	智超	大阪府立大学	α-プロモスチレン修飾フマル酸アミドの分子内Diels-Alder反応を利用したナフトレン誘導体の合成
1P-29	FH148	岩間	春香	静岡大学	重金属不要の炭素-硫黄結合切断による可視光駆動Giese型反応
1P-30	FH119	中村	光	近畿大学	3-ヒドロキシインドリノン類への有機ホウ素触媒を利用した求核置換反応の開発
1P-31	FH171	堀木	郁里	兵庫県立大学	キラルジカルボン酸触媒を用いたオキシインドールの不斉フッ素化
1P-32	FH180	渡部	光	岡山理科大学	π拡張ピレン光触媒/緑色光で駆動するエチニルスルホンの還元的脱スルホニル化
1P-33	FH75	米山	弘樹	大阪医科薬科大学薬学部	2,5-二置換テトラゾールからピラゾール融合環の合成: マイクロウェーブによるニトリルイミンとアルキンとの分子内環化付加反応
1P-34	FH172	長井	駿	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻	新規N-ボラン環状ホスフィンイミドの合成と応用
1P-35	FH124	杉田	雄治	岡山大学大学院自然科学研究科	サルコフィトライドの合成研究
1P-36	FH26	村田	裕基	愛知学院大学	銅触媒下で行う2-アリールベンゾフランとジセレニドとのC-Hセラニル化反応
1P-37	FH46	阿部	将大	武庫川女子大学	脱スルホニル型Smiles転位を活用したニトリル合成法の開発
1P-38	FH150	滝澤	忍	大阪大学産業科学研究所	不斉増幅を伴う光学活性含窒素8員環の合成研究
1P-39	FH155	前川	智弘	近畿大学	超原子価ヨウ素試薬を用いたカルバゾールのPMB保護基の酸化的脱保護反応
1P-40	FH123	河野	勇希	大分大学	イオン液体がローダミン系色素の熱・光安定性にも与える効果
1P-41	FH144	忍久保	芳崇	金沢大学	近赤外光を活用できるキラルボロ型金属錯体の開発
1P-42	FH157	奥田	靖浩	岡山理科大学	一電子酸化触媒を用いたイナミンと1,2-ジアジンの脱窒素型芳香環形成反応
1P-43	FH138	二宮	里樹	長崎大学	抗リ-シュマニア原虫活性を有するクリスタクセニシンAの合成研究
1P-44	FH117	阿左見	将弥	山口大学大学院	光駆動型置換反応によるヘテロ原子隣接C(sp ³)-H結合のナフテル化
1P-45	FH166	印南	朱里蘭	東京理科大学	1,6-ジインと単体硫黄を用いたFe触媒によるチオフェン合成法
1P-46	FH151	Ahmed	Sabri	大阪大学産業科学研究所	ヘテロ[8]サーキュレン、デヒドロ[7]ヘリセン、及びヘテロ[7]ヘリセンの電解ドミノ合成

講演番号	発表申込番号	名前_姓	名前_名	申込者所属	発表題目(日本語)
2P-01	FH158	馳川	史章	富山大学大学院医薬理工学環	2,6位トランス置換ビペリジン骨格構築法の確立と天然物全合成への応用
2P-02	FH185	岩田	真歩	お茶の水女子大学	Norrish-Yang反応を用いた新規イミダゾリジノン誘導体の合成
2P-03	FH3	山本	千加	東京理科大学	アルキニルスルフィドとテトラジンの反応によるピリダジン合成法の開発
2P-04	FH83	大谷	卓	阿南工業高等専門学校	超強酸を活性化剤に用いたグアニジンの環化反応による含窒素複素環化合物の合成
2P-05	FH58	樋口	大騎	関西学院大学	銅触媒を用いるイミダゾリジンの合成
2P-06	FH65	笠原	望	大阪大学環境安全研究管理センター	触媒の使い分けによるメチレンシクロプロパンと活性アルケンとの含酸素ヘテロ環合成
2P-07	FH175	南部	寿則	京都薬科大学	ロジウム(II)触媒を連続的に用いたone-pot反応によるactinollolide Aフラノン部の立体選択的構築
2P-08	FH159	赤坂	菜理	山口大学	ニコチンアミド系有機ビスマス化合物の合成と抗菌菌活性
2P-09	FH128	松元	彩香	京都大学	N-クロロアミドを経由した脂肪族ペプチド側鎖のC-Hクロロ化
2P-10	FH28	松村	実生	愛知学院大学	母核ジベンゾ[<i>b,h</i>]カルバゾールならびに誘導体の合成と分光特性
2P-11	FH178	Elboray	Elghareeb	立命館大学	<i>N</i> -Arylation using diaryliodonium salts as a versatile approach for construction of benzisoxazolones
2P-12	FH104	平野	圭一	東京大学	ホウ素を含む π 共役系化合物群の新たな合成法の開発
2P-13	FH81	石井	美緒	東京理科大学	アルキンの求電子的活性化を利用した2-アミノベンゾニトリルと単純な末端アルケンからの4-アミノキノリン誘導体の合成法の開発
2P-14	FH49	夏帆	夏帆	北海道大学大学院薬学研究院	コバルト触媒を用いた水素を還元剤とする還元環化反応
2P-15	FH86	横山	雄大	岡山大学	陽極酸化を用いたイソクロマン骨格へのシアノ基導入反応
2P-16	FH116	坂本	史駒	日本大学	トリフルオロメトキシ基を有する新規ジセレニドの合成の合成と過酸化水素を用いるバイヤーベリガー酸化に関する研究
2P-17	FH60	日下部	真優	金沢大学	NHC/光酸化還元協働触媒を用いた環状アミノ酸の1炭素環拡大を伴ったラクタム合成
2P-18	FH170	大庭	麟太郎	東邦大学	4位及び4,5位にアルキル基を有する新規3-ヒドロキシアゾール-2(3 <i>H</i>)チオン類及びそれらの亜鉛錯体の合成とインスリン様活性
2P-19	FH114	林	大悟	大阪大学	パラジウム触媒によるC-Pd/C-Si結合交換を経由したジヒドロベンゾシロール誘導体の合成
2P-20	FH167	宮本	直輝	岐阜大工	4,5-ジプロモイミダゾールのアミノ化-分子内環化によるラダー型化合物の合成と物性
2P-21	FH74	藤田	健一	京都大学	イリジウム錯体触媒を用いたアルコールによる含窒素芳香環上のメチル基のアルキル化反応
2P-22	FH31	渡邊	隆太	明治薬科大学	イナミドから生じるルテニウムビニリデン中間体を経たアゼピノインドール骨格構築法
2P-23	FH57	大前	皓平	兵庫県立大学	シノコナルカロイド由来新規不斉触媒の開発と高立体選択的脱芳香族的臭素化反応
2P-24	FH72	奥村	恭之	岡山大学大学院自然科学研究科	陽極酸化を用いたC-O結合形成を経るスルトン誘導体の合成
2P-25	FH129	YU	YAN	千葉大学	光学活性イミダゾリアミノ酸-銅錯体を用いるニトロアルケンとイミノエステルのexo選択的不斉[3+2]環化付加反応
2P-26	FH15	中村	彰吾	大阪大学大学院工学研究科	銅触媒を用いた求電子的アミノ化を利用する α -アミノリン酸の合成
2P-27	FH176	小林	陽太	富山大学大学院医薬理工学環	DAB及びLABをリード化合物としたグリコシダーゼ阻害活性が期待される新規ピロリジン誘導体の合成
2P-28	FH73	安間	恵未	千葉大学	光学活性ビスアミノイミノピナフトール亜鉛複核錯体を用いるアルケニルエーテルの分子間不斉ヨードアゾール化
2P-29	FH122	石黒	敬明	明治薬科大学	新規タンデム 菌頭-環化による効率的なベンゾ[<i>de</i>]クロメン骨格合成法の開発
2P-30	FH132	本間	大貴	芝浦工業大学工学部	N-ピリミジル基を有するオルト置換アニリン誘導体の回転挙動
2P-31	FH181	竹内	隆貴	東京理科大学	ジシラチアンと銅触媒を用いる含硫黄複素環化合物の合成法
2P-32	FH110	櫻羽	真熙	大阪大学	<i>N</i> -ヘテロサイクリックカルベン-ホウ素付加体からのトリアリールホウ素の移動を経由するFrustrated Lewis Pair発生機構
2P-33	FH115	吉松	三博	岐阜大学	チアゾリジンジオンのHNO-Catch-and-Release特性を利用したイソキサゾール合成
2P-34	FH164	久保田	圭亮	東北大学	π ルイス酸性金属触媒を用いた環化-[1,3]-スルフィニル転位による多置換イソキノリンの効率的合成
2P-35	FH165	佐々	裕隆	立命館大学	超原子価ヨウ素触媒を用いた酸化的炭素-窒素結合形成反応によるラクタム類の合成
2P-36	FH145	千野	絢香	成蹊大学	アミノ安息香酸誘導体の環状六量体を利用したケクレン類似体の合成検討
2P-37	FH77	長原	拓也	岡山大学	電気化学的手法を用いた連続的C-S結合形成反応によるチエノアセンの効率的合成法
2P-38	FH177	谷口	裕哉	岡山大学学術研究院医歯薬学域(薬学系)	ラジニラム及び関連化合物の合成研究
2P-39	FH91	福岡	宏太	三重大学大学院工学研究科分子素材工学専攻	パラジウム触媒を用いた3-アミノ-4-(2-プロモフェニル)-2-ピロンの分子内アミノ化反応による3,6-二置換4-エトキシカルボニルピラノインドール-1-オンの合成
2P-40	FH163	村上	遼	神戸学院大学	光学活性Z型配位子含有銅錯体の合成と触媒反応への応用
2P-41	FH182	茶谷	実里	学習院大学	ビスシリルイミンとシロキセンインとの分子間カップリング反応による多置換ピロールの合成
2P-42	FH100	桑満	憲太	成蹊大学	メチル基を有するアミノ安息香酸誘導体を用いたアミド結合含有コロネン類似体の合成
2P-43	FH140	三谷	龍祐	山口大学大学院	オキシチタニルフタロシアニンの結晶多形と電子構造に関する理論的研究
2P-44	FH147	小泉	拓也	神戸市立工業高等専門学校 応用化学科	N-スルホニル-1,2,3-トリアゾールと β -ジケトン類の反応
2P-45	FH107	吉原	勇作	熊本大学大学院薬学教育部	ホスフィンオキシド触媒によるスクシニミド類縁体の不斉アルドール反応